

ケンコー スライド デジコピア DSLR

SLIDE DIGICOPY



取扱説明書

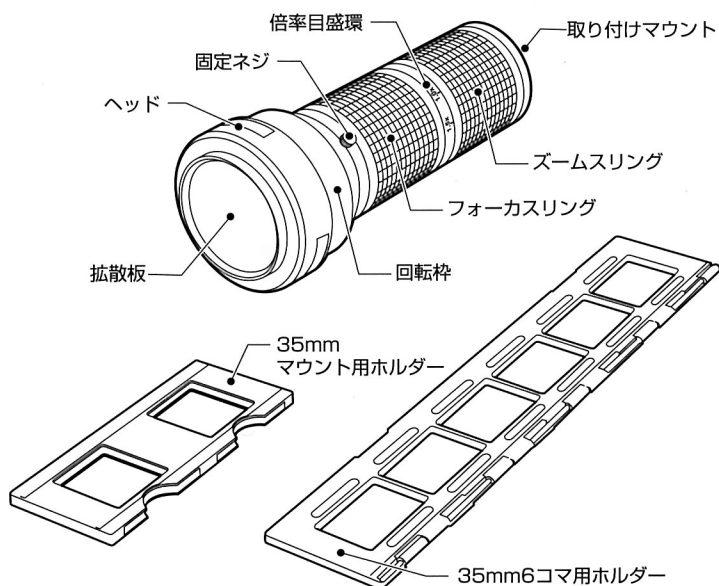
ケンコー スライド デジコピア DSLRは、35mm判リバーサルフィルムをAPS-Cフォーマットまたはフォーサーズ規格のデジタル一眼レフカメラで、手軽にデジタル画像化できる複写装置です。貴重なフィルムのデジタル化やパソコンソフトでの画像加工等に役立ちます。対応するカメラはニコン、コニカミノルタ、ペンタックス、オリンパス（フォーサーズ）、富士のデジタル一眼レフと、キャノンのAPS-Cフォーマット（レンズ焦点距離が1.6倍換算となるモデル）です。別売のTマウントを交換することであらゆるメーカーの機種に対応します。

仕様

撮影倍率	APS-C 1.0~1.5倍（グレーの倍率目盛を使用） フォーサーズ 1.1~1.5倍（ブルーの倍率目盛を使用） 上記倍率は見かけでの倍率となります。
レンズ構成	4群6枚 f 56.5mm F 3.5
トリミング移動量	上下各8mm
取り付けマウント	Tマウント対応（42mm径 ピッチ0.75mm）
フィルター径	52mm
寸法	φ70mm（最大径）×180mm（全長）
重量	約390g
付属品	35mmマウント用ホルダー 35mm6コマ用ホルダー

仕様および外観は予告なく変更することがあります。

各部名称



取り付け方法

- 本体取り付けマウント部分にTマウントをねじ込みます。
※カメラを取り付ける際には、別売のTマウントが必要です。お使いになるカメラに適合するTマウントをご用意下さい。
- Tマウントとカメラボディのレンズ着脱指標を合わせ、カチッと音がするまでまわし取り付けます。
- 本体とTマウントはねじ込み式のため、カメラに取り付けたとき、必ずしも文字の位置が上になるとは限りません。文字が見つからない場合は次の手順に従ってTマウントを調整して下さい。
 - Tマウント外周の3カ所ネジをドライバーでゆるめます。
 - 本体をまわして文字が見やすい位置になるように調整し、再びドライバーでネジを締めます。
※このとき、ネジをゆるめすぎると本体が外れる恐れがありますので、必ず本体を手で支えながら行ってください。

撮影方法

- 撮影したいフィルムをホルダーにセットします。
※ホルダーに35mmマウントが傾いてセットされたり、フィルムに丸みを帯びたままセットされると、撮影時にピントにムラが生じますのでご注意ください。
- 本体をカメラに取り付けます。ホワイトバランス調整は「オートホワイトバランス」でもOKですが、ホルダーをセットする前に、光源に向けて「カスタムホワイトバランス」でセットすると、より確実な色再現ができます。
- ホルダーをヘッドにセットします。
- 光源は、窓の外の白昼光を利用するか、室内の蛍光灯などの光源に向けて撮影します。白熱電球など熱を持つ光源の場合は、フィルムに異常をきたしたりホルダーが変形したりする恐れがありますので十分にご注意ください。
- 回転枠で角度、フィルムホルダーで左右、ヘッドで上下のトリミングをし、ズームリングで希望の画角に合わせます。（回転枠はネジをゆるめて位置を決めた後、再びネジを締めて固定します。）
- フォーカスリングをまわし、ファインダーでピントを確認して撮影を行います。

※カメラのシャッタースピードを変えたいときは、光源までの距離を変えるなどして、光量を調整することで行うようにします。

※取り付けてそのままシャッターが切れないカメラがあります。裏面の「セットを要するカメラ」をご参照ください。

露出の決定について

ニコンデジタル一眼レフ（露出計作動がCPU内蔵レンズのみの機種）、フジデジタル一眼レフの場合

あらかじめ、他の露出計が動作するレンズを付けたまま、スライドデジコピアDSLRを使用する光源に向け、絞りF3.5時のシャッタースピードを確認します。その後、スライドデジコピアDSLRを取り付け、カメラの露出モードをM（マニュアル）にセット、先ほど確認したシャッタースピードをセットします。フィルム複写後、ヒストグラムを確認しながらシャッタースピードを調整し、再撮影してください。

ニコンD1・D2シリーズ、キャノン、コニカミノルタ、ペンタックス、オリンパス（フォーサーズ）の場合

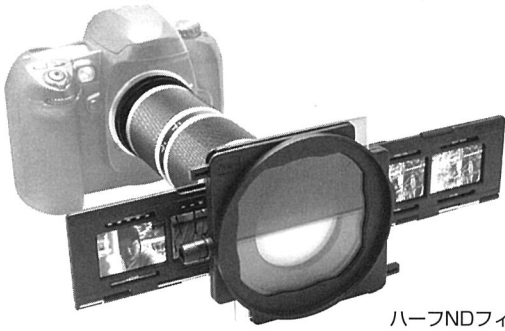
露出は、絞り優先オート（AvまたはAモード）に対応します。

倍率・画角について

- 表示の倍率は「見かけの倍率」です。
この製品の表示の1:1とは、「35mmフルサイズのボジがAPS-Cサイズいっぱい」に写る倍率であり、一般的な「等倍」（CCD面に実寸で写る）とは異なります。拡大撮影はズームリングを操作して、最大約1.5倍まで行えます。倍率目盛りの数値はある程度の目安であり、厳密な数値ではありません。
- カメラによってはファインダーの視野率（見える範囲）が違いますから、ファインダーで見たときには画面いっぱいでも、撮影画像上ではまだ余裕があるといった現象が起こります。ですから、あらかじめテスト撮影をして倍率や画角を確認されることをお勧めします。
- スライドデジコピアDSLRの使用で、カメラによってはファインダー上部が暗くなる「ミラー切れ」現象が起こりますが、撮影画像には問題あり

■ フィルターの取り付け

本体先端には52mm径のフィルターを取り付けることができます。また、アダプターリングを介してマルチホルダー・テクニカルホルダーを取り付けることができますから、ハーフNDフィルターで明暗差の調整も可能です。



ハーフNDフィルターを装着した例

■ 等倍撮影をされる方へ

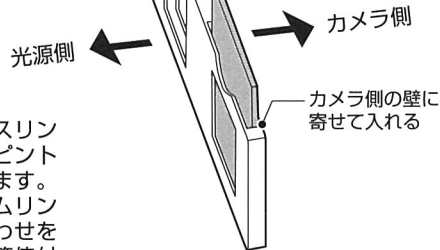
● 画角について

35mmフィルムの画面サイズは36mm×24mmですが、本製品に付属している6コマ用ホルダーの一コマの大きさは35mm×24mm、また、マウントのサイズは34mm×23mmです。このため、等倍撮影をした場合は周囲にホルダーやマウントの縁が写り込むこととなりますがご承知おきください。

この点は、事前にテスト撮影をして確認されることをお勧めいたします。

● マウントホルダーをご使用される場合

ホルダーにマウントをセットするとき、右図のようにカメラ側の内壁にぴったりとマウントが当たるようにセットしてください。



● 合焦位置について

等倍付近ではフォーカスリングの調節範囲だけではピントが合わないことがあります。このようなときはズームリングを操作し、ピント合わせを行ってください。また等倍付近では、等倍より少し拡大されたところと少し縮小されたところの2カ所でピントが合ったり、ピントが合う場所が一つの点ではなくある程度の幅を持っていたりすることがあります。このようなときは、2カ所のピントの中間付近にフォーカスリングを合わせ、ズームリングを動かすことでピントを合わせてください。その位置がほぼ等倍となります。

※等倍付近ではごくわずかにフィルムの位置が前後にずれるだけでもピントや倍率が変化します。ですから一つの複製を作る際には、ピントや倍率を変えたもので何コマか撮影されることをお勧めいたします。

■ セットを要するカメラ

一部のカメラではこのレンズの使用に際して特別なセッティングが必要となります。以下をご参照の上、操作願います。

● キヤノンEOSシリーズ

キヤノンEOSシリーズのカメラに本レンズをご使用になる場合、一部の機種ではカメラの機構上、下記の操作が必要となります。

- 本レンズを装着したときに絞り値が "00" と表示される場合：
→ そのままご使用いただけます。
- 本レンズを装着したときに絞り値に数値 (F2.8など) が表示される場合：
→ 絞り値を開放にしてください。

● ニコン D70s/D50/D100/D70 フジ S3pro/S2pro/S1 pro
上記のカメラに本レンズをご使用になる場合、カメラの露出計は使用できません。詳しくはカメラの取扱説明書 (CPU内蔵以外のニッコールレンズについての項) をご覧ください。

● コニカミノルタα7デジタル

カスタム機能番号を16 (レンズ未装着時のリリースロック) にセットし、選択番号1 (あり) から2 (なし) に変更します (詳しくはカメラ取扱説明書をご覧ください)。

※上記の方法で機能解除を行うとメインスイッチをOFFにしても機能解除の状態が保たれます。誤使用防止機能を復活させたい場合は上記操作を再度行ってください。

※手ブレ防止機能はOFFにしてください。

※カメラボディの操作についての詳しくは、各カメラメーカーのサービス窓口へお問い合わせください。

■ 安全上のご注意

安全のため、ご使用前には必ず下記の注意事項をお守りください。

下記注意事項では、危険をその内容、程度に応じ、次の2種類に分けています。

⚠ 警告

この指示に従わないで誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠ 注意

この指示に従わないで誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性があります。また、物的損害が発生する可能性があります。

下記注意事項では次のような絵表示を使用しています。

△は、注意が必要な内容があることを示しています。図の中に描かれているのは注意の内容です。(左図は発火注意)

⊘は、禁止を示しています。図の中に描かれているのは禁止の内容です。(左図は分解禁止)

❗は、指示を示しています。図の中に描かれているのは指示の内容です。(左図は注意する旨の指示)

⚠ 警告

- ⊘ スライドデジコピア DSLRで直接太陽をのぞかないでください。失明の原因となります。



- ⊘ スライドデジコピア DSLRは幼児の手の届くところには置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガをするおそれがあります。

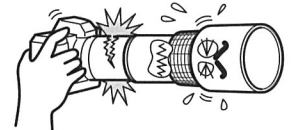


⚠ 注意

- ❗ スライドデジコピア DSLRをカメラに装着する時は、スライドデジコピア DSLRをカメラに正しくセットし、きちんとロックされたことを確認してください。正しく装着されていない場合、スライドデジコピア DSLRがはずれなくなったり、はずれて落下し、ケガをしったりするおそれがあります。



- ⊘ カメラに装着したスライドデジコピア DSLRに無理な過重をかけないでください。スライドデジコピア DSLRおよびカメラ側のマウント部分が損傷するおそれがあります。操作時や移動時には必ずスライドデジコピア DSLRを持つようにしてください。



- ⊘ スライドデジコピア DSLRを改造、変造しないでください。スライドデジコピア DSLRやカメラの故障の原因になります。改造、変造したレンズはサービスセンターでの修理が受けられない場合があります。



- ⊘ 日光が直接当たるところにスライドデジコピア DSLRを置かないでください。熱で製品が劣化するおそれがあります。

